

美しく良好な環境の保全

10年後に目指すぐんまの姿

- ✓ 環境共生、生物多様性が回復し、豊かで美しい自然環境が引き継がれています。
- ✓ 誰もが安心して利活用できる水環境に改善されています。
- ✓ 賢い成長と持続可能な社会の両立に向け、再生可能エネルギーの活用や資源の循環利用が進んでいます。

10年後の姿の実現に向けた施策

次世代に良好な環境を引き継ぐため、「自然環境の保全」や「健全な水循環の維持・回復」を推進するとともに、賢い成長と持続可能な社会の両立を目指し、カーボンニュートラルの実現につながる地球温暖化対策を推進します。

施策 1



豊かで美しい自然環境の 保全・再生

- 未来につながる群馬ならではの自然環境を形成します。

生物の生息環境の保全や再生に配慮した多自然川づくりを行うほか、地域住民等と協力し、自然再生に向けた取組を進めます。



施策 2

健全な水循環の維持・回復

- 下水道等と合併処理浄化槽のベストミックスにより、健全な水循環を形成します。

下水道や農業集落排水による整備では非効率となった区域を合併処理浄化槽による整備区域に変更することで、効率的・効果的な污水处理施設の整備を推進します。



施策 3



地球温暖化対策の推進

- カーボンニュートラルに向けたインフラの有効活用を推進します。

環境負荷の少ない資機材や木材の利用、水力発電をはじめとする再生可能エネルギーによる発電を導入します。



施策1 豊かで美しい自然環境の保全・再生

取組1 良好な河川環境の保全・形成

1 河川の生態系や風景の保全

瀬や淵などの「みお筋」は、水生生物の生息と密接に関わっています。

河川の流れの変化、水際の再生、河畔林等を保全・創出することで生物の生息・生育環境や風景の保全・再生を図るため、河川整備の際には、瀬や淵などの「みお筋」の保全に配慮した計画とします。

▼ 生態系や風景を保全した河川整備 ▼



瀬と淵を保全した河川整備(神流川 神流町)

2 親しみやすい河川環境の整備

身近な自然環境である河川に気軽に触れられるように、緩傾斜護岸、階段護岸などにより、水辺にアクセスしやすい魅力的な水辺空間を整備します。

▼ 親しみやすい河川環境整備 ▼



緩傾斜護岸(男井戸川 伊勢崎市)



階段護岸(三波川 藤岡市)

多自然川づくりの一例

▼ 一級河川寺沢川 河川改修 ▼

一級河川 寺沢川(前橋市)の河川改修に合わせて、護岸の勾配を緩くしたり、瀬や淵を残したりすることで、生物の生息・生育環境を保全しています。



事業前

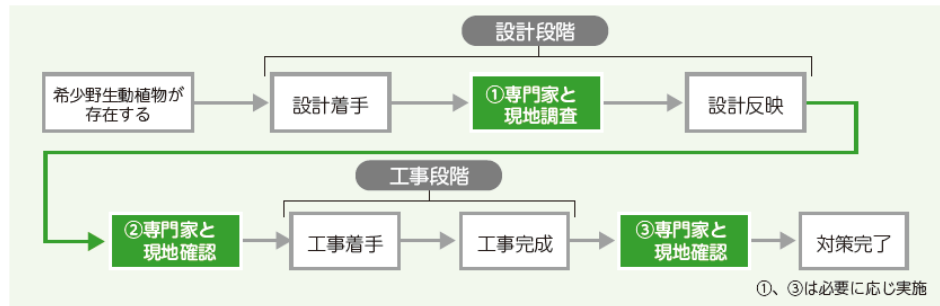


事業後

取組2 多様な生態系の保全・復元

1 希少野生動植物に配慮した社会資本整備

計画・設計段階から希少野生動植物の有無を確認することで、希少野生動植物に配慮した社会資本整備を行います。



2 自然再生に向けた取組

県立多々良沼公園では多様な生態系の保全・復元と美しい景観を創出することを目的に、地域住民やNPO、学識経験者等と協力し、自然再生に向けた取組を積極的に進めています。

また、河川内における水生生物の移動の妨げとなる構造物は極力設置せず、現場条件に鑑み、移動に配慮した形状も検討することで、魚類をはじめ、生物が生育しやすい環境を保全します。

多々良沼公園での取組

▼ 民間団体と協調した自然再生に向けた取組 ▼

多々良沼公園では、地域の民間団体とともに環境美化活動、外来種駆除等の取組を引き続き推進し生態系の保全、復元に努めます。



地域住民による環境美化活動の様子



白鳥飛来の様子

施策2 健全な水循環の維持・回復

取組1 地域の特性を踏まえた汚水処理人口普及率の向上

1 下水道等と合併処理浄化槽のベストミックスによる効率的・効果的な整備の推進

将来の人口減少による人口密度の低下に伴い、下水道や農業集落排水による整備では非効率となった区域を合併処理浄化槽による整備区域に変更することで、普及率を効率的・効果的に向上させます。

その他、汚水処理人口普及率の向上に向け、佐波処理区（伊勢崎市）における伊勢崎幹線管渠整備を推進します。

▼ 伊勢崎幹線管渠整備 ▼



管渠整備 施工状況

2 合併処理浄化槽への転換促進

汚水処理人口普及率の向上に向け、単独処理浄化槽利用者に対し、広報・対面説明・見積支援などの総合的支援を行うことで合併処理浄化槽への転換を促し、水環境の改善を図ります。

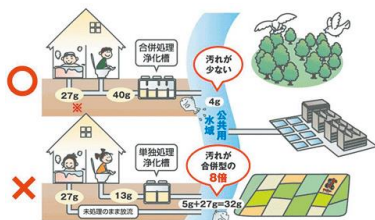
【実施箇所】

- ・動画・リーフレット等による広報とともに、重点6市町（高崎市、伊勢崎市、太田市、館林市、藤岡市、邑楽町）で対面説明や見積支援を実施予定です。



配信する転換促進動画

▼ 合併処理浄化槽の効果 ▼



※800の量：水中の有機物が微生物の働きで分解されると共に消費される酸素の量で、有機性の汚れが少なければこの数値が小さくなります。

▼ 合併処理浄化槽への転換 ▼



合併処理浄化槽 施工状況

3 広域化・共同化による汚水処理施設の維持管理費の負担軽減

より効率的・効果的な汚水処理施設の運用に向けて、前橋市、吉岡町、甘楽町などで施設の統廃合を推進します。

吉岡町の小倉地区の農業集落排水施設を県央処理区に統合することで、維持管理に必要な人員とコストを削減します。

▼ 施設統廃合の事例(吉岡町) ▼



▼ 汚水処理施設の広域化 ▼

汚水処理における広域化・共同化

人口減少に伴う使用料収入の減少や既存ストックの大量更新期の到来など、汚水処理施設の事業運営に係る多くの課題を解決するため、「広域化・共同化計画」に基づき、人材育成や災害時対応の共同化などの取組を推進します。



検討中の汚水処理施設

Topics 下水道施設の耐水化の推進

近年の頻発化・激甚化する気象災害を踏まえ、浸水時においても一定の下水道機能を確保し、下水道施設被害による社会的影響を最小限に抑制するため、耐水化等の対策を実施します。

具体的には、利根備前島水質浄化センター等で止水板を設置するなどの対策を実施します。

▼ 防水板の設置状況 ▼



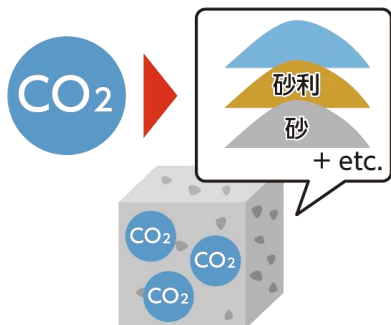
施策3 地球温暖化対策の推進

取組1 カarbonニュートラルの推進

1 環境負荷の少ない資機材の活用

インフラ分野におけるCarbonニュートラルの推進に向けて、コンクリートの製造過程におけるCO₂の排出抑制や、大気中のCO₂の固定・吸収が可能な環境に配慮したコンクリート等のエコな建設資材の活用を検討します。

▼ 環境配慮型コンクリートのイメージ ▼



【事業箇所】

- 比較的安価で、公共工事にも活用できる可能性が高い、低炭素型コンクリートの試験施工に取り組みます。

2 木材利用による適切な森林循環

公共施設における積極的な木材利用により、人工林の好循環に寄与することで、CO₂の吸収や災害から守るといった森林のもつ多くの働きを発揮できます。

敷島公園新水泳場では、屋内プールとして国内最大となる約4,500m²の純木造屋根架構を採用し、内装を含め県産木材を約1,000m³利用します。

▼ 敷島公園新水泳場：純木造屋根架構 ▼



【事業箇所】

- 敷島公園新水泳場整備では、敷島エリアグランドデザインを踏まえ、民間事業者のノウハウを活用するPFI方式で整備を進めています。令和8年度は、新水泳場の建設工事を実施します。

取組2 再生可能エネルギー等の利活用の推進

1 県営ダム及び砂防堰堤を活用した水力発電

水資源に恵まれた群馬県では、水資源による発電は貴重なエネルギー源となります。そのため、既設のダムや砂防堰堤の落差を利用した水力発電の可能性を調査し、再生可能エネルギーの有効利用に向けた検討を行います。

▼ 砂防堰堤を利用した水力発電 ▼



水力発電のイメージ

【実施箇所】

- 嬭恋村のウダラ沢において、砂防堰堤を活用した小水力発電事業を支援しており、令和8年9月から運用開始予定です。

2 下水道が有する再生可能エネルギーの利活用

現在、下水道では、排出される汚泥を肥料やセメント原料等に100%再利用しているほか、熱やバイオマスなどの多くの利用できる資源・エネルギーを有しています。

そのため、下水道が有する資源やエネルギーの効率的な導入方法を積極的に検討し、再生可能エネルギーの利活用を推進します。

▼ 下水汚泥のリサイクル ▼

